

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、小規模崩壊地復旧工事(木原町)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ・その他関連規格類

第2節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第3節 週休2日工事等
本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市 週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第2章 施工条件

第1節 安全対策

- 1 工事中の安全確保
建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課（令和3年3月）を参考とすること。

第2節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 **山田建設株式会社リサイクルプラント(糸崎南2糸崎第3野積場)**

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第3節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。

2 法定外の労災保険 の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 その他

第1節

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節

事業名、施工年度、施工主体などを明示した銘板(200×150×10mm)について、文字等について承諾を受けて製作し、施工箇所に設置すること。

(参考)

<p>小規模崩壊地復旧事業 (〇〇地区) 令和6年度 三 原 市 施工 (有)〇〇建設</p>
--

工事数量総括表

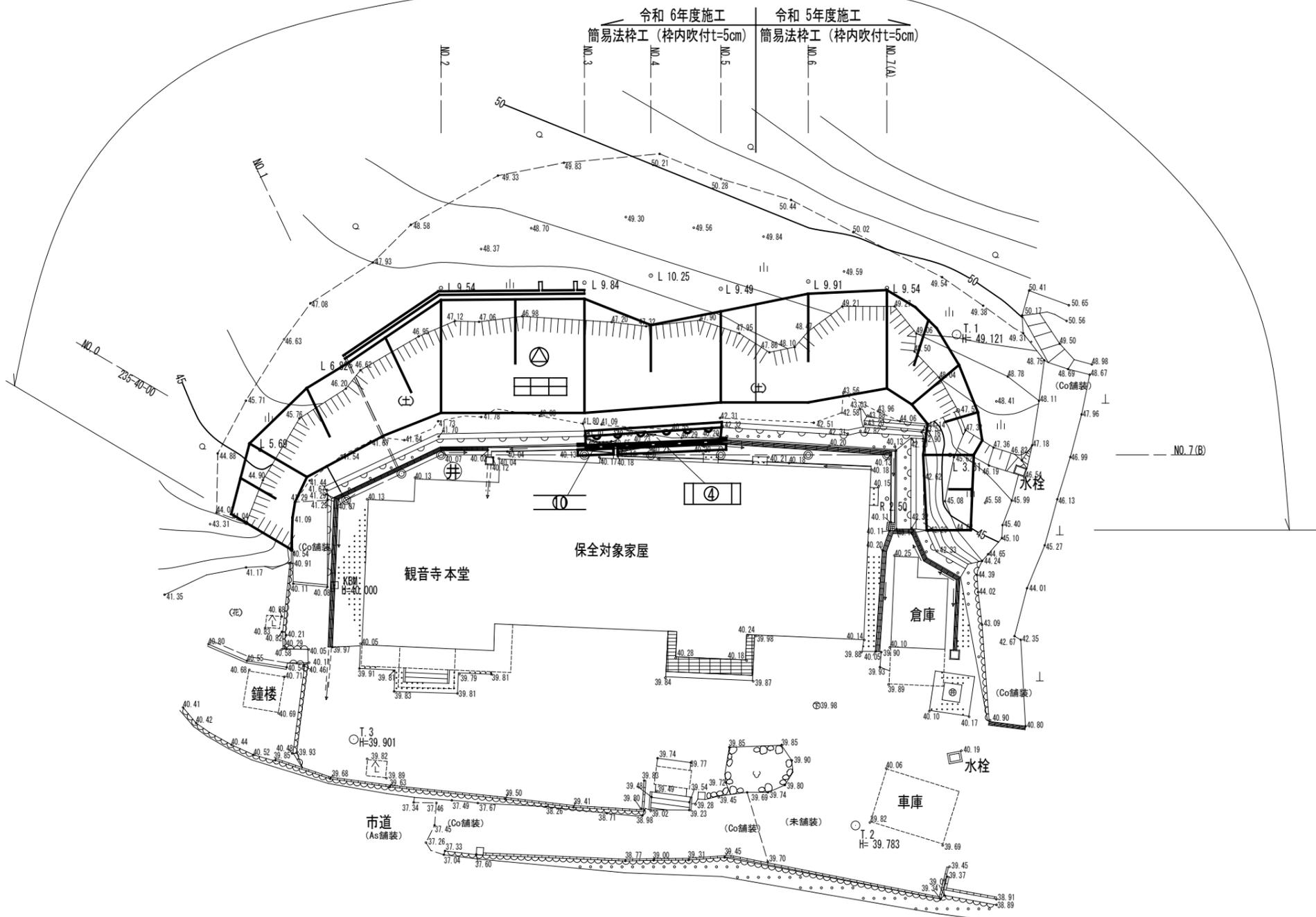
費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
本工事費					
山腹工	三原市木原町	式		1	レベル1
法面工		式		1	レベル2
法枠工		式		1	レベル3
簡易法枠		m2		245.6	レベル4
堤名板		枚		1	レベル4
湧水処理工		箇所		5	レベル4
水路工		式		1	レベル2
山腹集水路・排水路工		式		1	レベル3
山腹U型側溝		m		14.0	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理費率分					
契約保証費					

平面図 S=1/200

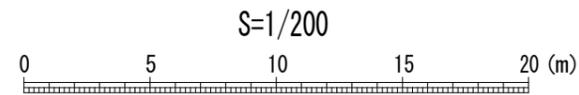


施工延長 L = 52.7 m
 簡易法砕工 (砕内吹付t=5cm) A=376.6m²
 (砕内モルタル吹付t=5cm) A=158.1m²
 (砕内植生基材吹付t=5cm) A=218.5m²
 水路工 (角フリューム200) L=8.5m+14.0m
 土留工 (コンクリート) V=12.4m³

令和 6年度 施工延長 L = 32.9 m
 簡易法砕工 (砕内吹付t=5cm) A=245.6m² (No. 5+2.0)
 (砕内モルタル吹付t=5cm) A= 99.0m² (No. 5+2.0)
 (砕内植生基材吹付t=5cm) A=146.6m² (No. 5+2.0)
 湧水処理工 (排水補強パイプ) 5.0箇所
 水路工 (角フリューム200) L=14.0m



凡 例	
	法切工
	簡易法砕工 (砕内吹付t=5cm)
	土留工 (コンクリート)
	水路工 (角フリューム200)



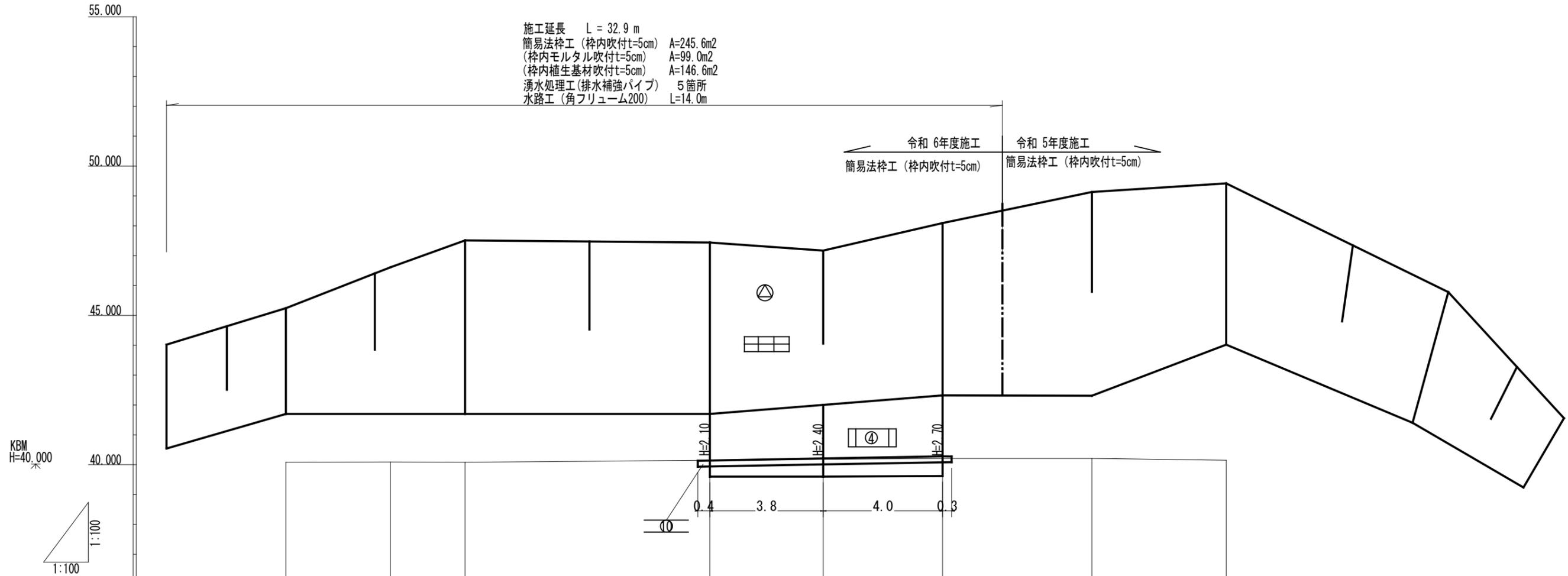
全 6 葉 中 1 番

年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	三-7 (木原)		
図面番号	1-1	縮尺	1/200
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

縦断面図 H・S=1:100
V・S=1:100

施工延長 L = 32.9 m
 簡易法枠工 (枠内吹付t=5cm) A=245.6m²
 (枠内モルタル吹付t=5cm) A=99.0m²
 (枠内植生基材吹付t=5cm) A=146.6m²
 湧水処理工(排水補強パイプ) 5箇所
 水路工(角フリューム200) L=14.0m

令和 6年度施工 簡易法枠工 (枠内吹付t=5cm)
 令和 5年度施工 簡易法枠工 (枠内吹付t=5cm)

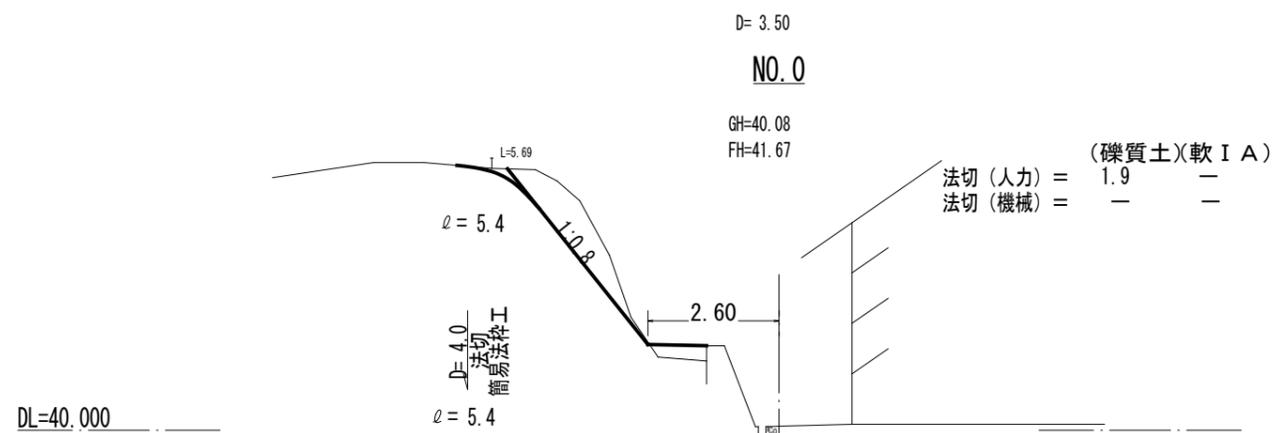
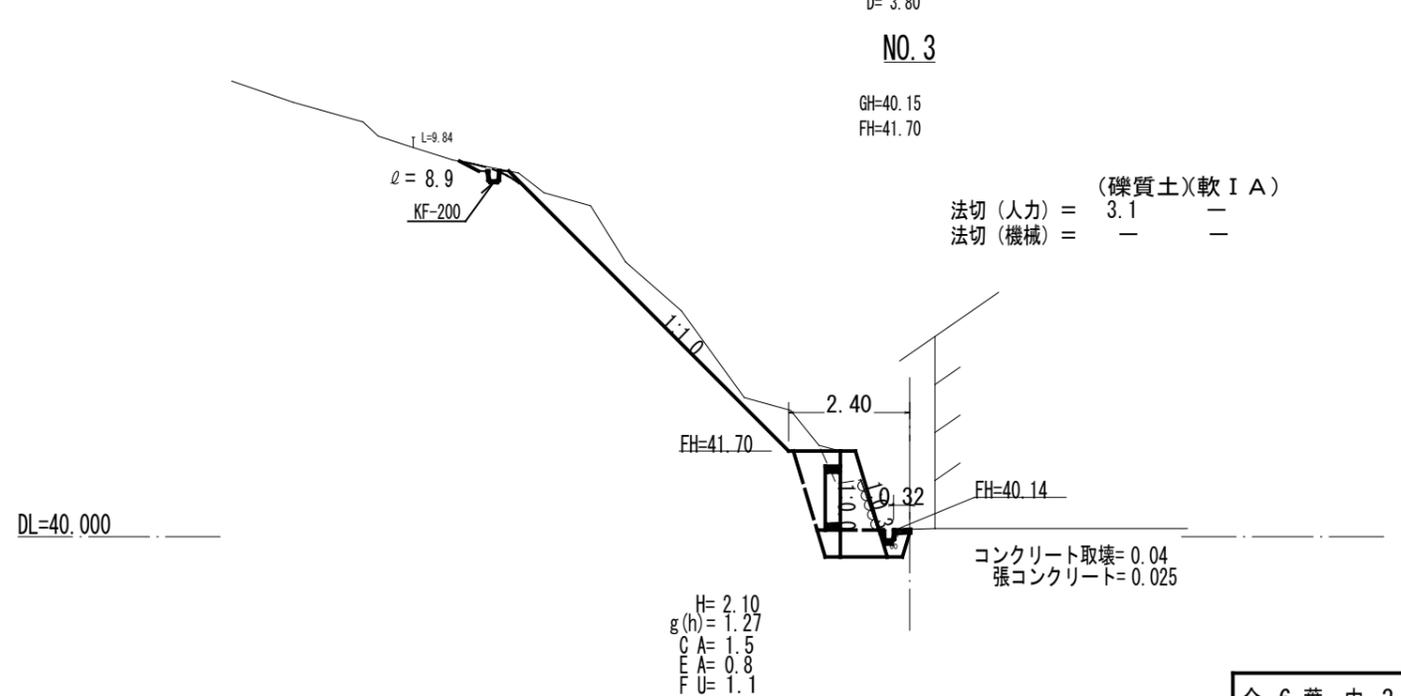
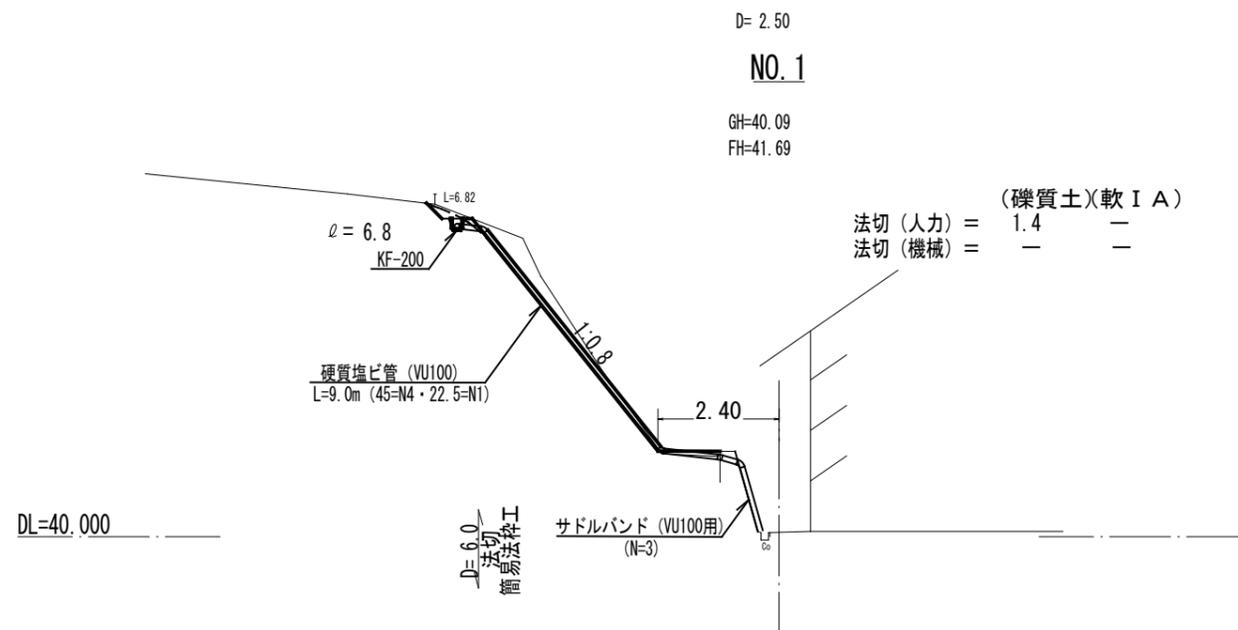
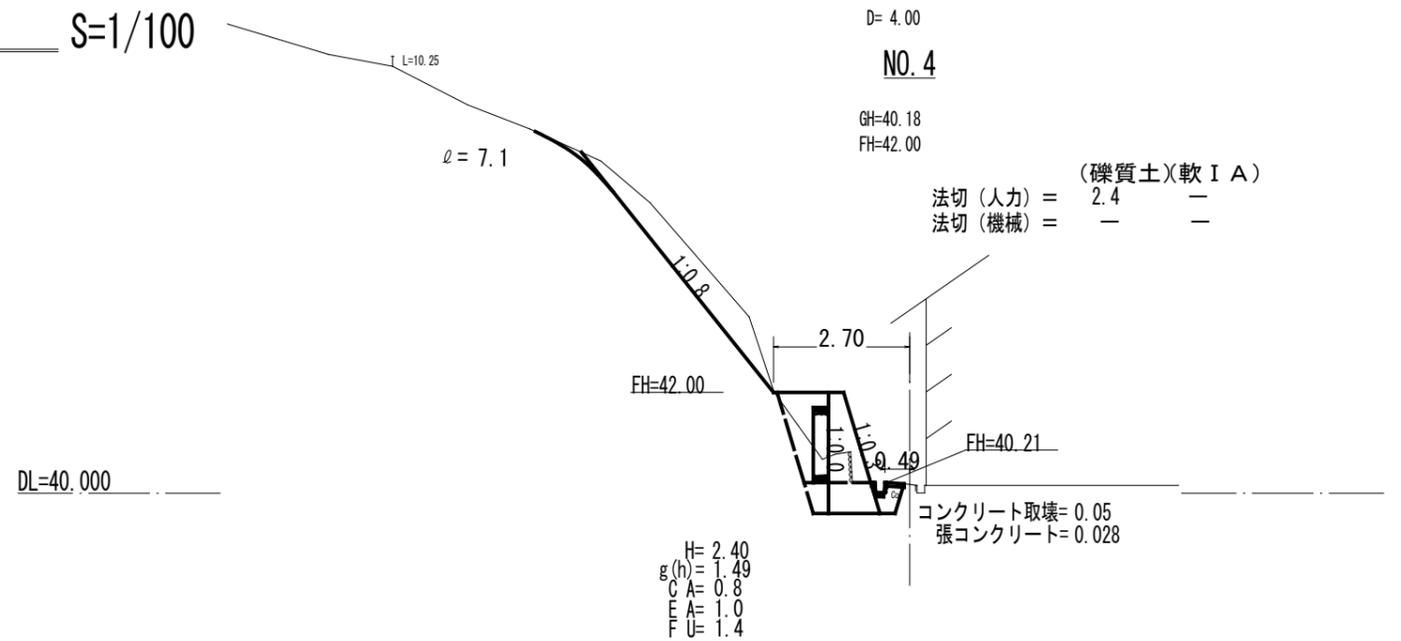
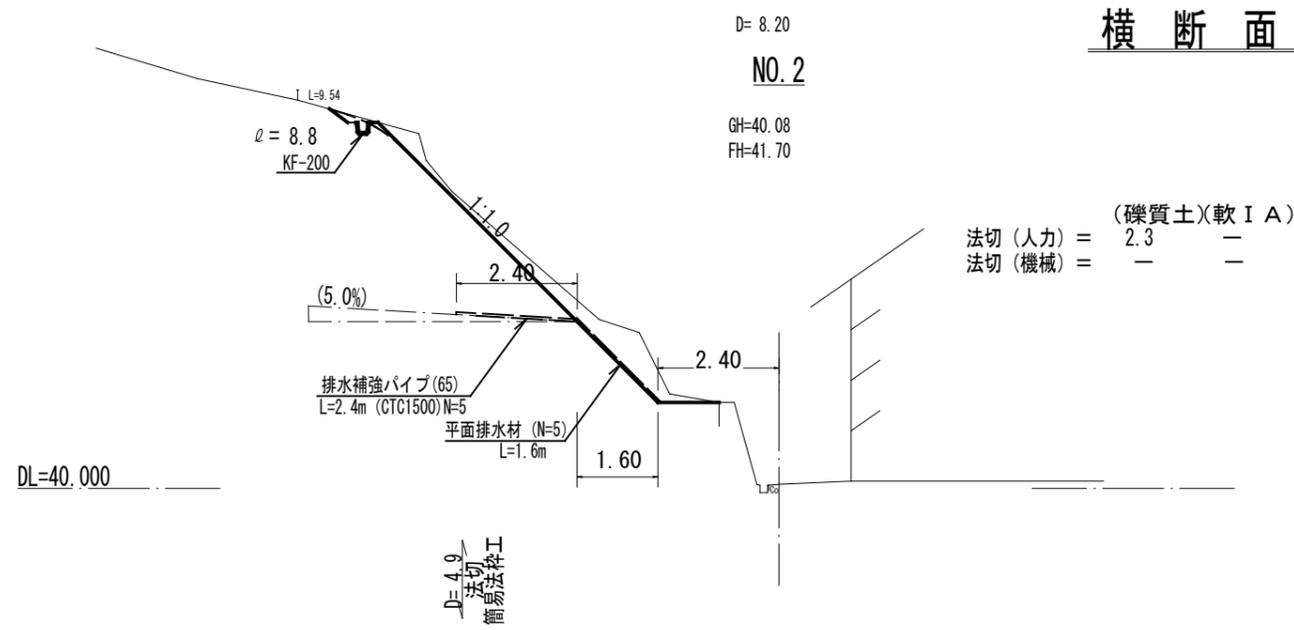


DL=35.000								
工作物高 M		41.67	41.69	41.70	41.70	42.00	42.32	42.31
水路計画高 M					40.14	40.21	40.28	42.88
地盤高 M		40.08	40.09	40.08	40.15	40.18	40.21	40.15
追加距離 M		0.00	3.50	6.00	14.20	18.00	22.00	31.50
区間距離 M		0.00	3.50	2.50	8.20	3.80	4.00	4.50
測点番号 No		NO.0	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6

全 6 葉 中 2 番

年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	縦断面図		
図面番号	1 - 1	縮尺	1/100
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

横断面図 S=1/100

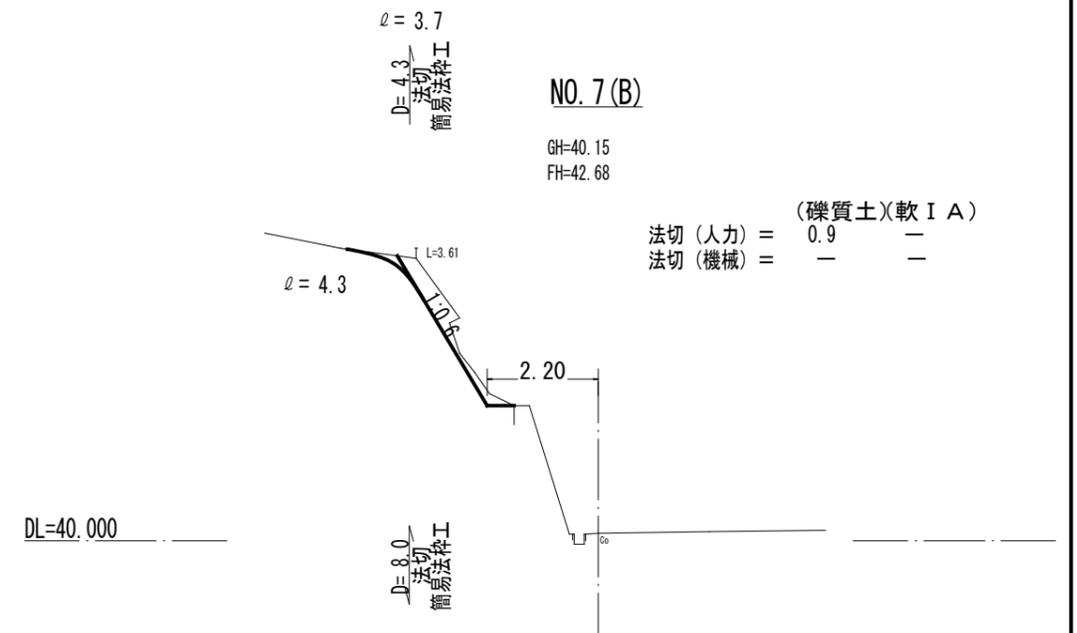
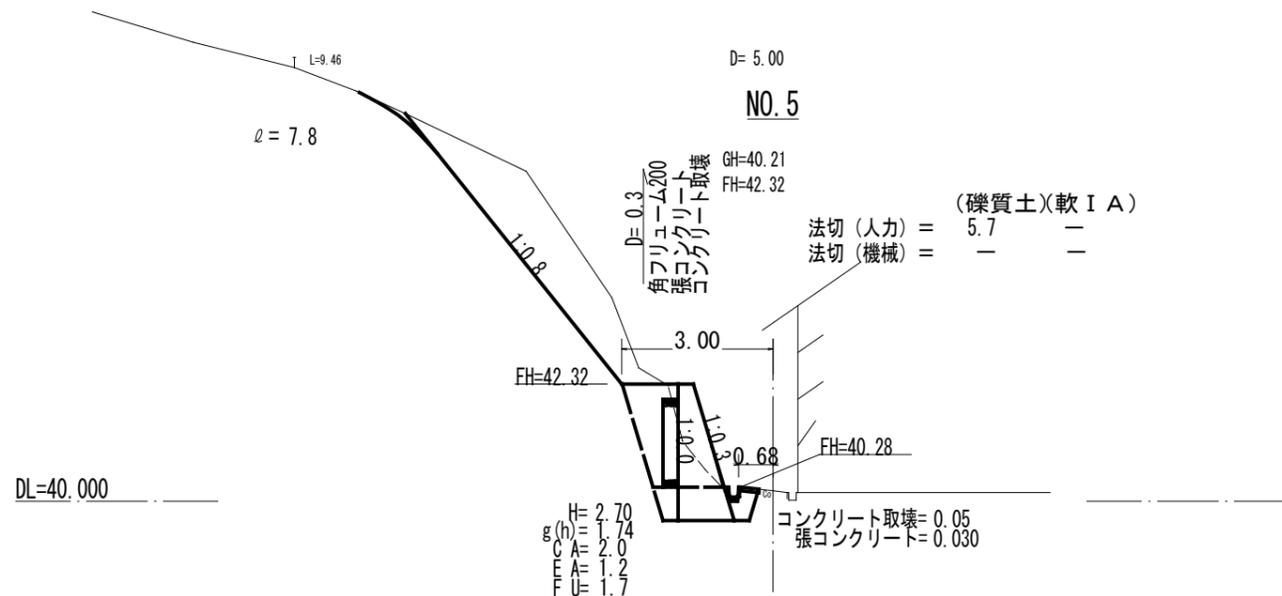
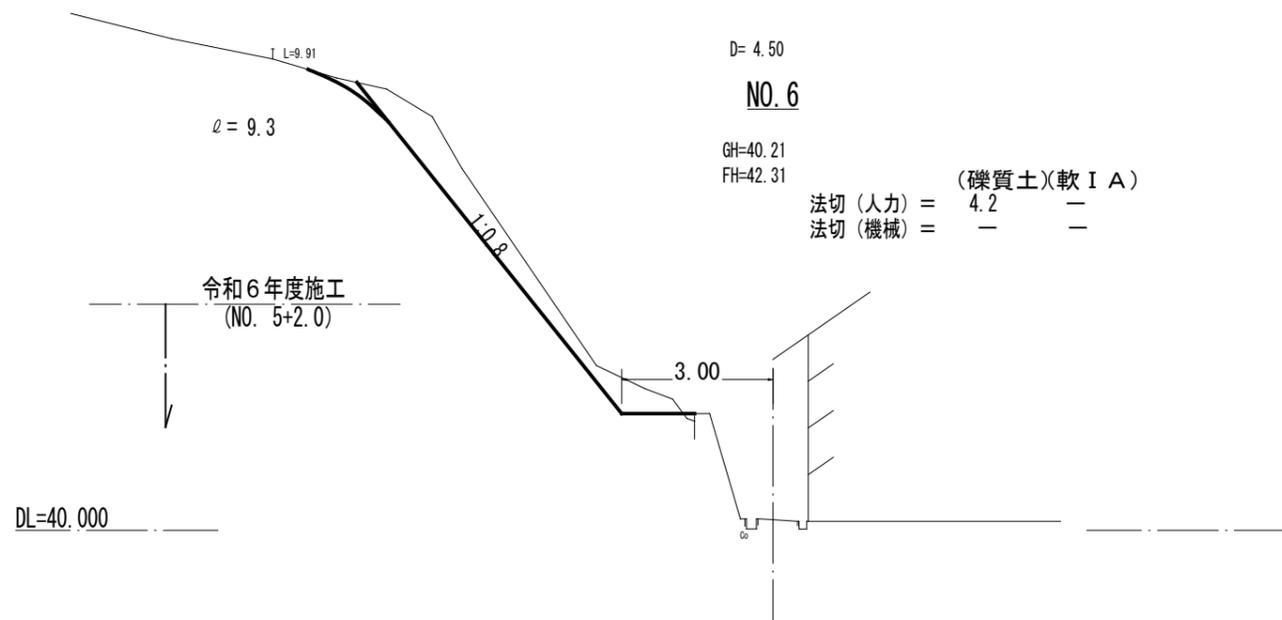
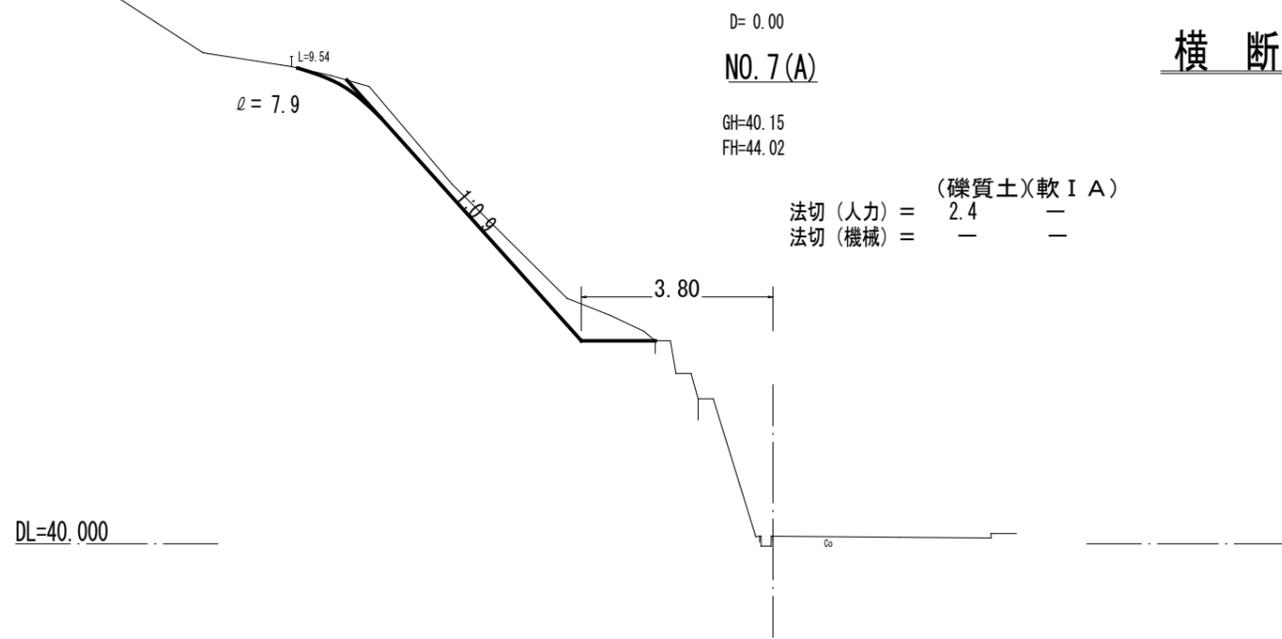


D= 0.4
角フェリチューム200
張コンクリート取壊
張コンクリート

全 6 葉 中 3 番

年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	三-7 (木原)		
図面番号	2 - 1	縮尺	1/100
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

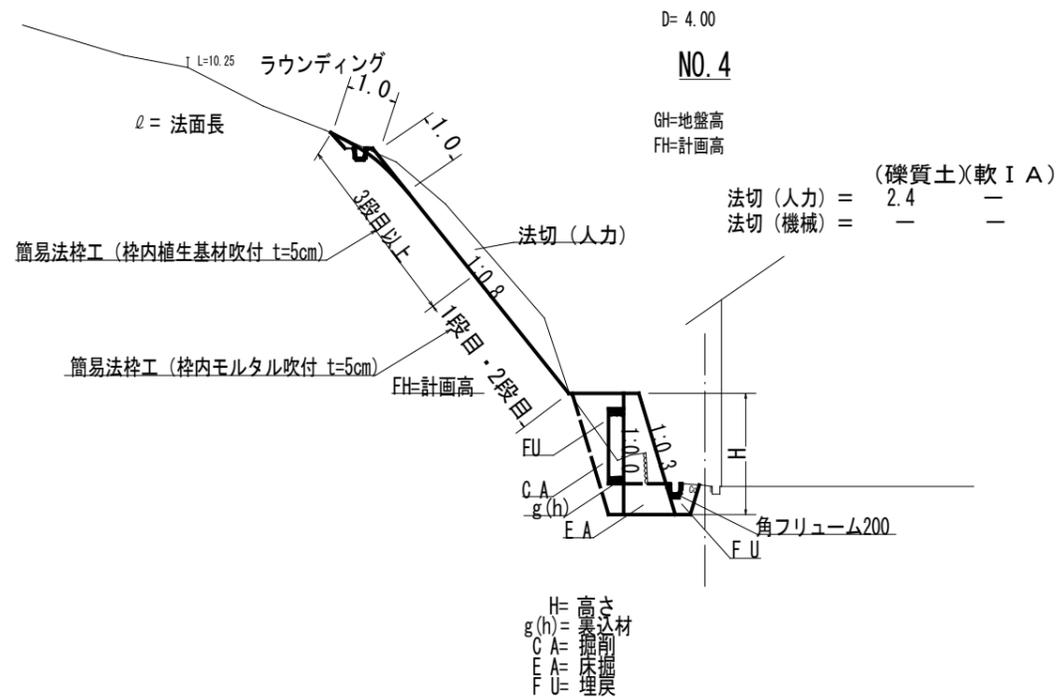
横断面図 S=1/100



全 6 葉 中 4 番

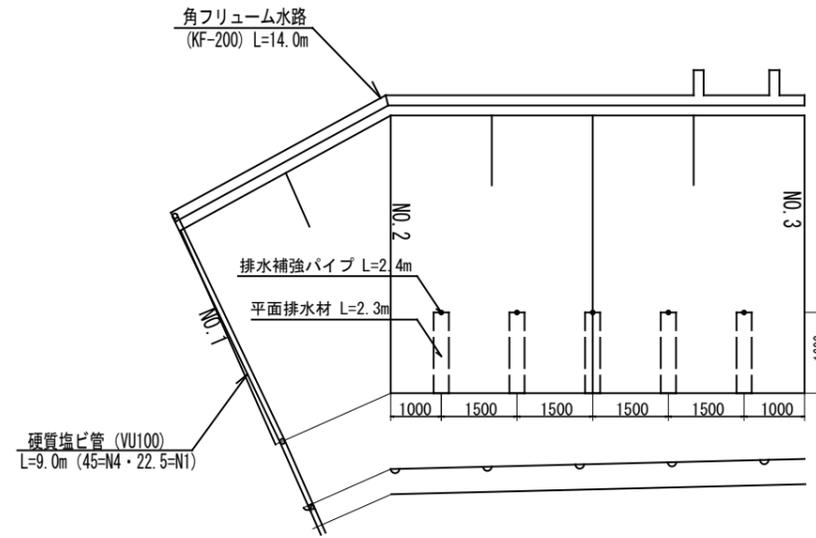
年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	三-7 (木原)		
名称	横断面図		
図面番号	2 - 2	縮尺	1/100
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

標準断面図 S=1/100



排水補強パイプ S=1/100

(展開図)



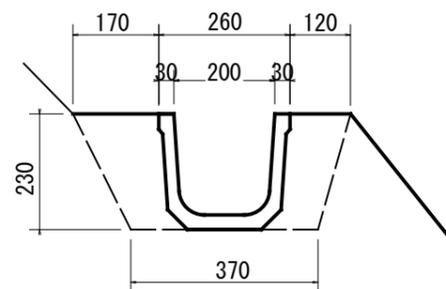
(暗渠排水パイプ詳細図)

(NJ排水補強パイプ (PDR-NJ) 相当)

ネジ式120

S=1:10

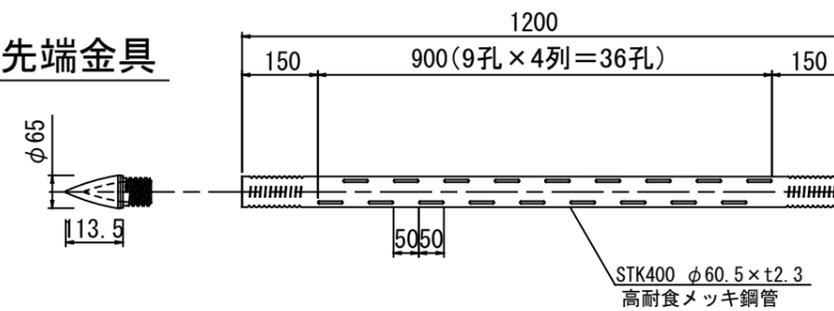
角パイプφ120 S=1/10



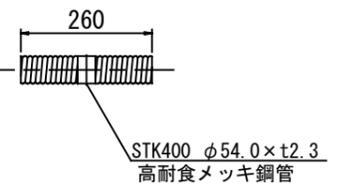
1.0m当り

床掘	0.10 m ³
埋戻	0.05 m ³

先端金具



接続管



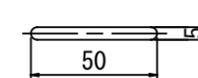
断面図

S=1:10



抜き孔

S=1:2



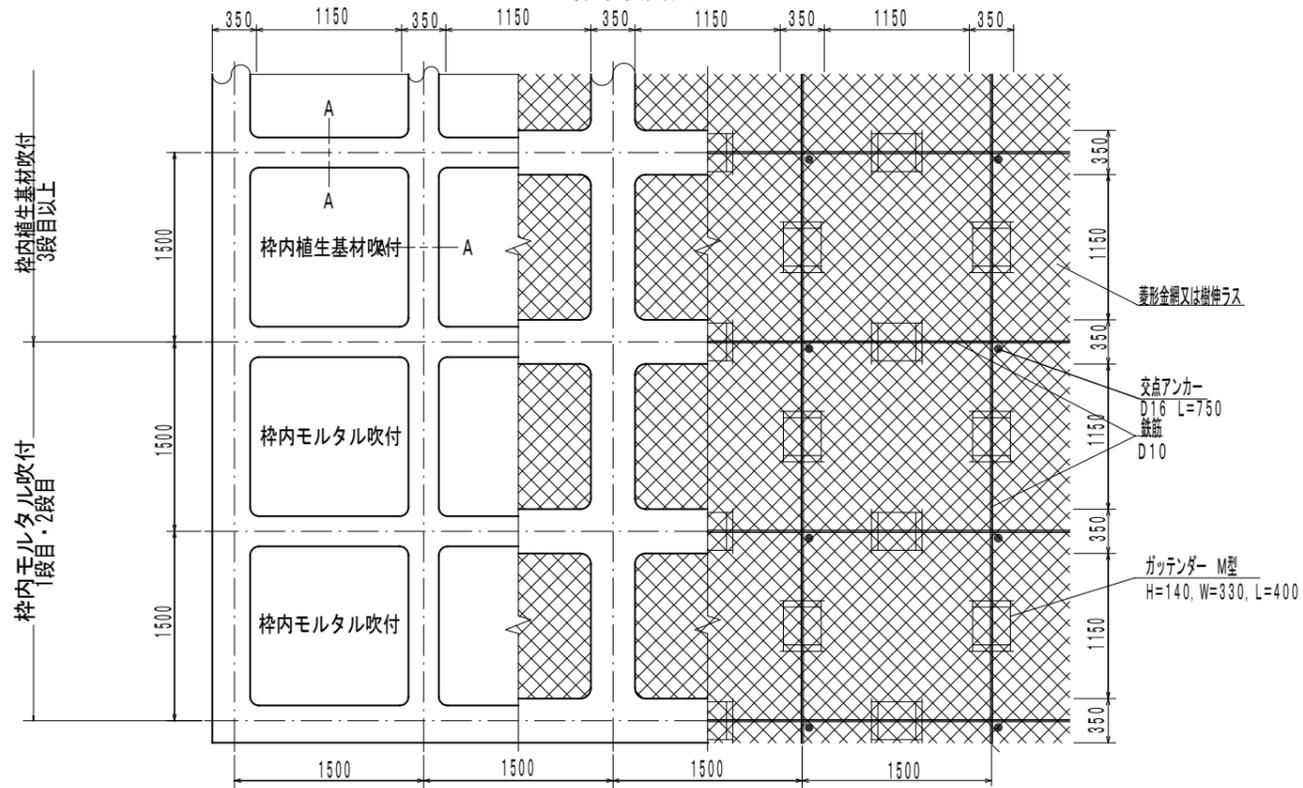
全 6 葉 中 5 番

年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	三-7 (木原)		
図面番号	2-1	縮尺	1/100
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

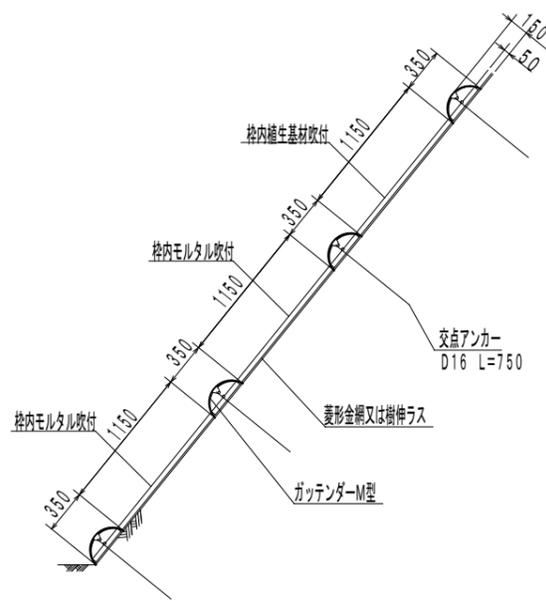
簡易法枠工標準施工図 S=1/40

(ソイルクリートE Mタイプ 1500) 単位mm

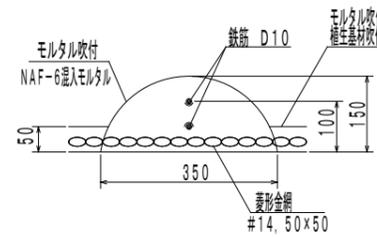
標準展開図



標準断面図



A-A断面 S=1/10



使用材料表

ソイルクリートE Mタイプ1500
枠内吹付工 t=5cm

材料名	規格	規格	数量	割増率
ラス網	#14, 50×50	m ²	140.0	4.0%
ラス用アンカー	φ16, L=400	本	30	
ラス用補助アンカー	φ9, L=200	本	150	
鉄筋	D10	kg	188.8	17%
主アンカー(交点)	D16, L=750	本	52	
組立枠	ガッターM型 W=330, H=140, L=400	個	94	
枠用シート	Mタイプ 1500用	枚	42.3	
枠モルタル吹付		m ³	5.27	
枠内植生基材吹付・枠内モルタル吹付 t=5cm		m ²	55.9	

全 6 葉 中 6 番

年度	令和 6 年度		
事業名	小規模崩壊地復旧 事業		
施工地	広島県三原市木原町		
名称	三-7 (木原)		
図面番号	2-2	縮尺	1/100
施工主体	三原市		
課長	課長補佐	係長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会		
主任技術者	設計	製図	測量

参 考 資 料

—小規模崩壊地復旧工事(木原町)—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-06.05.01(0) B 公共 (R01.06~)		
	当世代	前世代	

工種区分	03	治山・地すべり工事
復興補正区分	00	補正なし
施工地域・工事場所区分	00	補正なし
週休補正区分	03	4週8休以上
緊急工事補正区分	00	通常工事
積雪寒冷地補正	00	補正なし
前払率(%)	40	
契約保証費区分	01	0.04%
工事費端数区分	01	千円未満切捨て
ICT補正区分	00	補正なし

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
山腹工 三原市木原町	1			式					レベル1	
法面工	1			式					レベル2	
法枠工	1			式					レベル3	
簡易法枠	245.6		m2						レベル4	
簡易法枠工（枠内モルタル工） 枠内モルタル吹付（厚5cm）	99.0		m2						00	単第0 -0001 表
簡易法枠工（枠内植生工） （厚 5cm）	146.6		m2						00	単第0 -0012 表
堤名板	1			枚					レベル4	
林道名板（A型・アルミ軽合金） 200×150×10mm	1			枚					00	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
湧水処理工									レベル4	
排水補強パイプ施工 60.5 t=3.2mm L=2.4m	5			箇所					00	
排水補強パイプ 60.5 t=3.2mm L=2.4m 見積単価	5			組					単第0 -0014 表 00	
平面排水材 30×3									00	
水路工									00	
山腹集水路・排水路工	11.5			m					00	
山腹U型側溝	1			式					レベル2	
山腹U型側溝	1			式					レベル3	
小段水路工 角フリューム (KF-200)	1			式					レベル4	
暗渠排水管 据付 直管 50~150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm	14.0			m					00	
暗渠排水管 据付 直管 50~150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm	14.0			m					単第0 -0015 表 00	
暗渠排水管 据付 直管 50~150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm	9.0			m					単第0 -0020 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相当額計 **						
** 請負工事費計 **						

施工単価表

簡易法枠工（枠内モルタル工）
 枠内モルタル吹付（厚5cm）

単第0 -0001 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
法面清掃工（現場吹付法枠工）	100	m2			単第0-0002 表
ラス張工 [簡易法枠]	100	m2			単第0-0003 表
鉄筋・組立枠設置工 [簡易法枠] H=150	100	m2			単第0-0005 表
アンカー工 [簡易法枠 (B)] 16 L=750mm 砂質土・礫混り土・玉石混り土	52	本			単第0-0006 表
法枠吹付工（モルタル） [簡易法枠]	5.27	m3			単第0-0007 表
枠シート設置工 [簡易法枠]	100	m2			単第0-0010 表
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]250m2未満	55.9	m2			単第0-0011 表
計	100	m2			
小計	1	m2			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.7	人			
法面工	2.2	人			
普通作業員	0.9	人			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型3次基準	0.6	日			単第0-0004 表
ひし形金網<JISG3552> 亜鉛めっき鉄線(Z-GS2) 線径2.0, 網目50mm	140.0	m2			
諸雑費	13	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
B=0 アンカーピン単価 (円/本)			C=0 補助アンカーピン単価 (円/本)		

施工単価表

鉄筋・組立枠設置工 [簡易法枠]
H=150

単第0 -0005 表

頁0 -0010

100

m2 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	1.170	t			
簡易法枠組立枠 H = 1 5 0 W = 3 4 0 H = 1 4 0 L = 4 0 0	1.00	個			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	2.60	人			
普通作業員	0.50	人			
諸雑費	3.00	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=2 H=150 C=1 組立枠 (100m2当り個数)			B=1 D 1 0 D=1 異型棒工 (設計量) (100m2当りt数)		

施工単価表

アンカー工 [簡易法枠 (B)]

単第0 -0006 表

16 L=750mm

砂質土・礫混り土・玉石混り土

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アンカー	100	本			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	1.90	人			
普通作業員	1.00	人			
諸雑費率	4.00	%			
計	100	本			
小計	1	本			
A=2 H = 1 5 0			B=1	砂質土・礫混り土・玉石混り土	

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	5.46	t			4.2*1.3
コンクリート用砂 荒目(洗い)	16.12	m3			12.4*1.3
土木一般世話役	1.60	人			
法面工	3.20	人			
特殊作業員	3.20	人			
普通作業員	3.20	人			
機-15_モルタルコンクリート吹付機運転 湿式・モータ駆動 能力0.8~1.2m3/h	11.20	時間			単第0-0008 表
ホイールローダ運転(賃料・法枠吹付工) ホイールローダ 0.34m3	1.60	日			単第0-0009 表
諸雑費	19.00	%			
計	10	m3			
小計	1	m3			
A=1 砂			B=1	-	

施工単価表

簡易法砕工（砕内植生工）
（厚 5cm）

単第0 -0012 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
法面清掃工（現場吹付法砕工）	100	m2			単第0-0002 表
ラス張工 [簡易法砕]	100	m2			単第0-0003 表
鉄筋・組立砕設置工 [簡易法砕] H=150	100	m2			単第0-0005 表
アンカー工 [簡易法砕（B）] 16 L=750mm 砂質土・礫混り土・玉石混り土	52	本			単第0-0006 表
法砕吹付工（モルタル） [簡易法砕]	5.27	m3			単第0-0007 表
砕シート設置工 [簡易法砕]	100	m2			単第0-0010 表
植生基材吹付工（砕内吹付） 厚5cm [規]250m2未満	55.9	m2			単第0-0013 表
計	100	m2			
小計	1	m2			

施工単価表

単第0 -0014 表

頁0 -0019

排水補強パイプ施工

60.5 t=3.2mm L=2.4m

18

組 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
法面工	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
賃料 空気圧縮機運転(エンジンコンプレ 吐出量 17m ³ /min 排出ガス対策型(第1、2次基準値)低騒音	1.0	日			
<賃>コンクリートプレーカ 質量30kg級	1.0	日			
排水補強パイプ打込架台 単管足場 見積単価	1.0	日			
排水補強パイプ プレーカー用ノミ 見積単価	0.225	個			
排水補強パイプ アダプター 見積単価	0.225	個			
諸雑費	1	式			
計	18	組			
小計	1	組			

施工単価表

小段水路工
角フリーム (KF-200)

単第0 -0015 表

10

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 現場制約あり	1.0	m3			単第0-0016 表
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め有り	0.5	m3			単第0-0017 表
U型側溝 材料別途 L=2000mm/本	10.0	m			単第0-0018 表
角フリーム KF200 L=2.0m	5	本			
角フリーム用パット KF250用 L=0.90m	5	枚			
材料運搬 (小型不整地運搬車0.5t積) セメント・鋼材等 人力積込 運搬距離20m	3.8	t			単第0-0019 表
計	10				
小計	1				

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0017 表

土砂

現場制約あり 締固め有り

1

m3 当り

機械構成比: 0.28%

労務構成比: 99.32%

材料構成比: 0.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,839.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.28%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	88.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.40%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=6 C=1	現場制約あり 締固め有り		B=1 D=1	土砂 -(全ての費用)	

施工単価表

材料運搬（小型不整地運搬車0.5 t積）
セメント・鋼材等

単第0 -0019 表

人力積込 運搬距離20m

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.68	L			
特殊作業員	0.14	人			
小型不整地運搬車 クローラ型 油圧ダンプ式 0.5 t 積	0.32	供用日			2.18/6.9
1時間当り運転経費		時間			
1 t 当り		t			
諸雑費	1	式			
小計	1	t			
A=2 クローラ式0.5 t 積 C=20 運搬距離 (m) E=4 旋回角 1 8 0 °			B=11 D=1	セメント・鋼材等 人力積込	

施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0020 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比:

53.96%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

608.4500

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径100(114×3.1)	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0402 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=50 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)		

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
本工事費					
山腹工	三原市木原町	式		1	レベル1
法面工		式		1	レベル2
法枠工		式		1	レベル3
簡易法枠		m2		245.6	レベル4
堤名板		枚		1	レベル4
湧水処理工		箇所		5	レベル4
水路工		式		1	レベル2
山腹集水路・排水路工		式		1	レベル3
山腹U型側溝		m		14.0	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理費率分					
契約保証費					

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備 考
	法面工							
		法枠工						
			簡易法枠工			245.6	m2	
				枠内吹付工	モルタル(t=5cm)	99.0	m2	
				枠内吹付工	植生基材(t=5cm)	146.6	m2	
			銘板工	堤名板	D型250×200×10	1	枚	
			湧水処理工			5.0	箇所	
				排水補強パイプ (60.5t=2.3mm)		5.0	組	
				平面排水材	30×3	11.5	m	2.3×5
	水路工							
		U字溝						
			角フリューム	200mm		14.0	m	
			硬質塩ビ管	VU100		9.0	m	
			質塩ビ管継手	45° エルボ		4.0	個	
			質塩ビ管継手	22.5° エルボ		1.0	個	
			自在バンド	Φ100~120		3.0	個	

法面工 数量計算表

測点名	距離 (m)	簡易法枠工				モルタル (枠内t=5cm)				植生 (枠内t=5cm)			
		修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積
		(m)	(m)	(m)	(m ²)	(m)	(m)	(m)	(m ²)	(m)	(m)	(m)	(m ²)
			5.4				3.0				2.4		
No. 0		4.0	5.4	5.40	21.60	4.0	3.0	3.00	12.00	4.0	2.4	2.40	9.60
No. 1	3.5	6.0	6.8	6.10	36.60	6.0	3.0	3.00	18.00	6.0	3.8	3.10	18.60
No. 2	2.5	4.9	8.8	7.80	38.22	4.9	3.0	3.00	14.70	4.9	5.8	4.80	23.52
No. 3	8.2	8.2	8.9	8.85	72.57	8.2	3.0	3.00	24.60	8.2	5.9	5.85	47.97
No. 4	3.8	3.9	7.1	8.00	31.20	3.9	3.0	3.00	11.70	3.9	4.1	5.00	19.50
No. 5	4.0	4.0	7.8	7.45	29.80	4.0	3.0	3.00	12.00	4.0	4.8	4.45	17.80
No. 6	2.0	2.0	7.8	7.80	15.60	2.0	3.0	3.00	6.00	2.0	4.8	4.80	9.60
No. 7(A)	0.0												
No. 7(B)													
合計	24.0	33.0			245.59	33.0			99.00	33.0			146.59
設計数量					245.6				99.0				146.6

水路工 数量計算表

測点名	距離 (m)	角フリューム 200mm		硬質塩ビ管 VU100		硬質塩ビ管継手 45° エルボ		硬質塩ビ管継手 22.5° エルボ		自在バンド Φ100~120		延長 (m)	小計 (m)
		延長	小計	延長	小計	延長	小計	延長	小計	延長	小計		
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		
No. 0													
No. 1	3.5												
No. 2	2.5		4.9		9.0		4.0		1.0		3.0		
No. 3	8.2		8.2										
No. 4	3.8		0.9										
No. 5	4.0												
No. 6	2.0												
No. 7(A)													
No. 7(B)													
合計	24.0		14.0		9.0		4.0		1.0		3.0		
設計数量			14.0		9.0		4.0		1.0		3.0		

位置図

(34.3914 133.13924)

地理院地図

GSI Maps



この図は、国土地理院地図を使用したものである。